

令和元年8月2日  
田端ふれあい館第1ホール

第4回 (仮称) 芥川龍之介記念館検討委員会  
次第

1. 開会

2. グループワーク～ (仮称) 芥川龍之介記念館の方向性、アイデア～

3. その他

(1) 今後の予定について

**【配付資料】**

資料1 施設見学のまとめ (事前送付)

# 施設見学に寄せて：（仮称）芥川龍之介記念館への要望、アイデア

## 1 印象、全体

- 芥川家の再現、庭の整備
- 日本家屋の雰囲気と庭が楽しめる記念館に
- 二階建てにして書斎からの庭の眺めを再現したい
- ▲バリアフリー対応、（エレベーターの設置等）、耐震対策の解決
- ▲当時より狭い面積での整備となることの制限
- 建物の一部には、現代的なデザイン、贅沢な材料のアイテムなどが入ってもいいかも
- 田端らしい記念館に

## 2 屋内

- 建物面積の狭さを踏まえた、カフェ、物販、受付、トイレ等の配置の工夫（別棟での展開なども含めて）

## 3 カフェ・グッズ

- 安価、魅力的、実用的なオリジナルグッズの作成
- グッズに芥川の顔や写真などを活用
- カフェの整備（集客装置としても想定）
- トータルのイメージづくり

## 4 展示物・企画

- 見やすく、違和感のない展示（パネル高さ、文字の大きさなど）
- 田端を意識した展示（人物交流、地域との関係性など）
- 書斎再現の場合は、書斎内に入れるとよい
- 年譜等は簡易に。写真や映像などの手法を用いてわかりやすいものに
- 映像、ビジュアルの活用（芥川の生涯、作品内容など）
- ▲VRは魅力的ではあるがコンテンツ次第。技術的・経済的に課題があるのでは
- 企画展、朗読会などの展開
- 多言語に対応
- 展示の核やターゲットの明確化
- リピーターが訪れる展示内容、仕掛け

## 5 その他

- 駅からのアクセス動線に、デザイン的に工夫された案内標識を設置
- ロゴマークを作る